

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）



平成16年8月6日

会社名 株式会社エー・アンド・デイ

登録銘柄

コード番号 7745

本社所在都道府県 東京都

(URL: <http://www.aandd.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 古川 陽

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長

氏名 手塚 和夫

TEL (048) 593-1111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理における一部簡便的な方法の採用の有無 : 有
税金費用等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。
その他影響が僅少なものにつきましては、一部簡便的な手続きを用いております。
- ② 会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切り捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	5,785	(10.5)	408	(-)	309	(-)	186	(-)
16年3月期第1四半期	5,233	(12.5)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 16年3月期	22,870	(5.8)	1,827	(30.3)	1,427	(42.6)	750	(13.3)

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	20.64	20.24
16年3月期第1四半期	-	-
(参考) 16年3月期	83.18	81.85

(注) 1. 四半期経営成績の開示初年度であるため、売上高以外の項目につきましては、前年同四半期実績及び前年同四半期増減率の記載はしていません。

2. 上記の数値は監査法人の監査を受けておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は全般的には、輸出の増加、設備投資の回復等、景気回復基調での推移となりました。

当社グループを取巻く業界につきましても業績は立ち直りの傾向となっておりますが、顧客の製品に対する更なる高性能化、低価格化等の要請は益々厳しい状況となっております。

当社グループは、このような市場状況に対応するため精力的に新規事業を立ち上げるとともに、既存事業につきましても、海外生産の強化をはじめコストの低減を積極的に推進してまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は5,785百万円となり、営業利益は408百万円、経常利益は309百万円、当期純利益は186百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	28,115	7,711	27.4	850.67
16年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 16年3月期	28,230	7,541	26.7	833.76

(注) 1. 四半期経営成績の開示初年度であるため前年同四半期実績の記載はしていません。
2. 上記の数値は監査法人の監査を受けておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	308	△332	61	2,158
16年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 16年3月期	298	△977	606	2,096

(注) 1. 四半期経営成績の開示初年度であるため前年同四半期実績の記載はしていません。
2. 上記の数値は監査法人の監査を受けておりません。

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当連結会計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローが332万円のマイナスとなりましたが、営業活動によるキャッシュ・フローが308万円のプラス、財務活動によるキャッシュ・フローが61万円のプラスとなり、前連結会計期間末に比べ、62百万円増加し、当連結会計期間末では2,158万円となりました。

3. 17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	11,793	687	447
通期	25,545	2,006	1,239

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 136円68銭

【業績予想に関する定性的情報等】

当該四半期における業績は概ね順調に推移しており、現時点において中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

※ 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予想であり、リスクや不確定要素が含まれております。そのため当社グループを取巻く経済情勢等により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる場合がありますのでご承知おきください。

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成16年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	2,468	—	—	—	2,358
2. 受取手形及び売掛金	8,745	—	—	—	9,154
3. たな卸資産	8,399	—	—	—	8,306
4. その他	883	—	—	—	936
流動資産合計	20,497	—	—	—	20,755
II 固定資産					
1. 有形固定資産	5,662	—	—	—	5,599
2. 無形固定資産	1,133	—	—	—	1,125
3. 投資その他の資産	823	—	—	—	750
固定資産合計	7,618	—	—	—	7,474
資産合計	28,115	—	—	—	28,230
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	3,666	—	—	—	3,665
2. 短期借入金	8,800	—	—	—	8,556
3. 1年以内返済予定 長期借入金	2,344	—	—	—	2,352
4. その他	1,237	—	—	—	1,701
流動負債合計	16,048	—	—	—	16,275
II 固定負債					
1. 社債及び長期借入金	2,750	—	—	—	2,875
2. その他	1,006	—	—	—	948
固定負債合計	3,756	—	—	—	3,824
負債合計	19,805	—	—	—	20,099
(少数株主持分)					
少数株主持分	598	—	—	—	589
(資本の部)					
資本合計	7,711	—	—	—	7,541
負債、少数株主持分 及び資本合計	28,115	—	—	—	28,230

2. 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成16年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	5,785	—	—	—	22,870
II 売上原価	3,374	—	—	—	13,524
売上総利益	2,410	—	—	—	9,345
III 販売費及び一般管理費	2,002	—	—	—	7,518
営業利益	408	—	—	—	1,827
IV 営業外収益	18	—	—	—	189
V 営業外費用	117	—	—	—	589
経常利益	309	—	—	—	1,427
VI 特別利益	—	—	—	—	—
VII 特別損失	27	—	—	—	183
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	281	—	—	—	1,243
税金費用	85	—	—	—	452
少数株主利益	9	—	—	—	40
四半期(当期) 純利益	186	—	—	—	750

3. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	281	—	1,243
減価償却費	174	—	889
売上債権の増減額	437	—	△1,406
たな卸資産の増減額	△66	—	△262
仕入債務の増減額	△42	—	278
その他	△262	—	826
小計	521	—	1,567
利息及び配当金の受取額	2	—	29
利息の支払額	△80	—	△358
法人税等の支払額	△135	—	△940
営業活動によるキャッシュ・フロー	308	—	298
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△172	—	△420
無形固定資産の取得による支出	△86	—	△395
その他	△73	—	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332	—	△977
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	229	—	△1,765
長期借入金の純増減額	△136	—	829
社債の発行による収入	—	—	690
株式の発行による収入	13	—	902
その他	△44	—	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	61	—	606
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	24	—	△57
V 現金及び現金同等物の増減額	62	—	△130
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,096	—	2,226
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,158	—	2,096

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,467	2,317	5,785	—	5,785
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
合計	3,467	2,317	5,785	—	5,785
営業費用	3,310	1,872	5,183	194	5,377
営業利益	157	444	602	△194	408

前連結会計年度（自平成15年4月1日 至平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	14,393	8,476	22,870	—	22,870
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
合計	14,393	8,476	22,870	—	22,870
営業費用	12,862	7,430	20,292	749	21,042
営業利益	1,531	1,046	2,577	△749	1,827

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
計測・計量機器事業	計測・制御・シミュレーションシステム、半導体露光装置向け電子銃及びA/D・D/A変換器、試験機、電子天秤、台秤、インジケータ、カウンティングスケール、ロードセル等
医療・健康機器事業	家庭用デジタル血圧計、血圧監視装置、全自動血圧計、精密体重計、超音波吸入器等

[所在地別セグメント情報]

当四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,317	977	164	325	5,785	—	5,785
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	855	0	—	677	1,533	△1,533	—
合計	5,173	978	164	1,003	7,319	△1,533	5,785
営業費用	4,642	961	169	950	6,723	△1,346	5,377
営業利益	530	16	△5	52	595	△187	408

前連結会計年度（自平成15年4月1日 至平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,936	3,869	735	1,329	22,870	—	22,870
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,300	6	11	1,797	5,116	△5,116	—
合計	20,237	3,875	746	3,126	27,986	△5,116	22,870
営業費用	18,053	3,790	725	3,149	25,717	△4,675	21,042
営業損益	2,183	85	21	△22	2,268	△440	1,827

- (注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 米州……アメリカ、カナダ等
 欧州……イギリス、ドイツ、ロシア等
 アジア・オセアニア……韓国、台湾、香港、オーストラリア等